

投稿の手引き（9巻1号から適用）

論文の形式

1. 原著論文は、原則として、表紙、内容要旨、本文〔緒言、材料および方法（または、対象および方法）、結果、考察、結論〕、文献、英文抄録（Abstract）、図・表、付図・付表説明の順とし、表紙から英文抄録（Abstract）までの原稿下段中央に、通しページ番号を記入する。原著論文以外の総説、臨床・症例報告、調査研究および教育報告も、原則としてこれに準ずる。
2. 論文の構成
 - 1) 表題：簡潔に内容を表したものとす。副表題は数字のみでなく内容を表したものとす。
 - 2) 内容要旨：論文の内容を簡潔に表したものとす。
 - 3) 緒言：研究の背景や新規性、目的および研究の意義が明確に理解できるように記述す。
 - 4) 材料および方法（対象および方法）：使用した材料や装置、あるいは方法を明確に記載し、同一の方法で追試が行えるように、わかりやすく記述す。また、実験条件の設定、試料の数や抽出法、統計処理などが、研究目的に合致していることとす。
 - 5) 結果：客観的事実のみを記述し、著者の主観を交えたような表現を避ける。計測結果は、平均値と標準偏差などの特性値を併記す。
 - 6) 考察：方法、結果などについて、従来の文献を参考に十分推敲を重ね、独断的にならないように、また論旨が飛躍しすぎないように注意す。さらに、研究目的に対する考察に的を絞り、総論的な考察は避ける。
 - 7) 結論：得られた結論のみを正確かつ簡潔に記述す。その際、緒言で提示した研究目的や仮説との整合性に注意す。
3. 原稿は、A4判用紙を用い、1ページ当たり40字×20行（800字）、12ポイントの活字を用いて、横書きとする。余白は、天地左右25mmとする。和文はMS明朝体、英文・英数字はTimes New Romanで入力す。
4. 論文の内容に関する利益相反（COI）状態について記載す。

倫理規定

1. ヒトを研究対象とする場合は、ヘルシンキ宣言を遵守して、倫理的に行われており、被験者あるいは患者にインフォームドコンセントが得られていなければならない。また、所属機関の倫理審査委員会の承認を得ていること等の明記を必要とする。
2. 動物を対象とする場合には、「所属施設の動物実験委員会等の承認を得ていること」などの明記を必要とする。
3. 患者を研究対象者とする場合は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従い、写真、臨床所見および検査データなどの資料および対象者から得られた検体等の公表に際しては、原則として対象者である患者本人から承諾を得る。また、発表資料などから研究対象者が特定されないよう個人情報保護法を遵守す。
4. その他の臨床試料（ヒト抜去歯など）を用いた研究を発表する場合には、所属機関の倫理委員会の承認を得ていること等を明記す。
5. 疫学研究に関する発表は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従ったものであること。その際は、研究対象者の人権およびその属するコミュニティに対する影響を考慮した上で論述す。また、発表資料などから研究対象者個人が特定されないよう個人情報保護法を遵守す。
6. ヒトゲノムあるいは遺伝子解析に関する研究の発表は、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」および「遺伝子治療臨床研究に関する指針」に従ったものである。また発表に際しては、資料提供者の尊厳および人権に十分配慮するとともに、社会に対する影響を考慮した上で論述す。また、発表資料などから研究対象者個人が特定されないよう個人情報保護法を遵守す。
7. 適応外使用の医薬品・医療機器あるいは国内未承認薬・未承認治療法の使用を含む症例発表については、所属機関に設置されている関連委員会（倫理審査委員会、未承認新規医薬品等審査委員会等）において使用の承認を得ていること。

表紙

1. 表紙には、論文の種類、表題（和文）、著者氏名（和名）、表題（英文）、著者氏名（ローマ字：姓はすべて大文字、名は頭文字のみ大文字）、所属機関名（和名・英名）、および40字以内の略表題（ランニングタイトル）を記載する。

<記載例>

原 著

市販衝撃吸収材のラミネートタイプマウスガードへの適用 -加熱・圧接の影響-

北島健至, 富田 淳¹⁾

Application of commercially available absorbing materials to laminate type mouth guard -Influence of heating and pressure welding-

KITAJIMA Takeshi, TOMITA Atsushi

日本歯科大学東京短期大学専攻科 歯科技工学専攻

The Nippon Dental University College at Tokyo, Graduate Programs, The Major of Dental Technology

1)日本歯科大学東京短期大学 歯科技工学科

The Nippon Dental University College at Tokyo, Department of Dental Technology

ランニングタイトル：市販衝撃吸収材のラミネートタイプマウスガードへの適用

内容要旨・英文抄録 (Abstract)

1. 内容要旨は600字以内とし、最後にキーワード3~5語程度を記載する。
2. 英文抄録 (Abstract) は、300 words 以内とし、最後に Key words 3~5 words 程度を記載する。ただし、臨床・症例報告、調査研究および教育報告では、英文抄録 (Abstract) と Key words を省略することができる。
3. 英文タイトル・英文抄録 (Abstract) は投稿者が十分に吟味し、必要に応じて英文校正者（歯科医学の専門知識を有することが望ましい）によるネイティブチェックを受けてから投稿する。

本 文

1. 緒言、材料および方法（または、対象および方法）、結果、考察、結論は、見出しの語で示し、それらには数字をつけない。
2. 文中の項目を細分する場合は、1・2・3…、1)・2)・3) …、(1)・(2)・(3) …、①・②・③…、a・b・c…、の順によるものとする。
3. 論文中に記載する製品については、一般名（製品名、製造者）の順とし、「®」や「TM」などの商標登録表示を上付記載する。
4. 文中の外国語（欧文）は下記の通りとする。
 - 1) 人名は、通常、姓のみを記す。
 - 2) 製品名および製造者名を原語で示す必要があれば、単語の先頭文字を大文字、以下を小文字とする。原則として、一般名（製品名、製造者、海外製品は国名）」のように記載する。なお、「®」や「TM」などの商標登録表示を上付記載する。
 - 3) 普通名詞は、ドイツ語およびラテン語の場合では単語の先頭文字を大文字、以下を小文字とする。英語およびフランス語の場合ではすべて小文字で記す。
 - 4) 学名二名法の場合は、属名の単語の先頭文字を大文字、以下を小文字とし、イタリックで記す。たびたび使用する場合は、2回目以後では属名を省略し、単語の先頭文字で表してさしつかえない。

<記載例> *Streptococcus mutans*→*S. mutans*

- 5) その他の原語で示す必要があれば、慣用の特殊語を除き、すべて小文字で記載する。
5. 文中の数字の取り扱いは下記の通りとする。
 - 1) アラビア数字（算用数字）数量を示す場合
 - 2) 日本数字（漢字） 数字を含む名詞、形容詞、副詞など

<記載例> 第一大臼歯、一部分、二次齲蝕、二、三の、再三、四方、十数回
6. 単位記号は、原則としてSI単位系を使用する。
7. 平均と標準偏差の記載は、平均（標準偏差）とする。

<記載例> 平均（標準偏差）0.48 (0.37) g に対し、指導後は0.52 (0.34) gであった。

8. 臨床・症例報告については、口腔内写真やエックス線写真を用い、わかりやすく記載する。

<記載例>

患者：○歳の○性

初診：○○○○年（西暦年）○月○日

主訴：○○○○○○○○

現病歴：受診の発端となった症状（主訴）の発生、経過等を時系列に記載する。

既往歴：全身疾患に対する既往、および口腔に対する既往を記載する。

現症：主訴に対する現在の状態を記載する。

（必要に応じて下記項目に分ける）

全身所見：○○○○○○○○

エックス線所見：○○○○○○○○

その他各種検査所見：○○○○○○○○

保存・補綴処置等、およびその経過：○○○○○○○○

診断名：臨床診断名，病理学的診断名

治療計画：○○○○○○○○

治療経過：○○○○○○○○

治療における留意点：○○○○○○○○

※症例や報告の内容によっては、必ずしもこの書式通りに記載することができない場合は、簡素化しても良いが、この書式を基本として記載する。項目の削除は、必要最小限とする。追加はさしつかえない。

9. 研究補助金についての記載、謝辞およびその他の特記事項は結論の末尾に付記する。

10. 利益相反（COI）の有無を本文末尾に記載する。

- 1) 利益相反（COI）がある場合

<記載例> 「本研究遂行に際し、全研究資金の20%は飯田橋株式会社から支援を受けている」などと記載する。

- 2) 利益相反（COI）がない場合

<記載例> 「本論文に関して、開示すべき利益相反状態はない」などと記載する。

11. 本文中の図・表の該当部分には、右欄外に「図1」などと朱書きする。

文 献

1. 文献は、本文末尾に一括して引用順に記載する。

2. 本文中の文献呼び出しは、片括弧で、文の右肩に付す。2つ引用する場合は「，」で、3つ以上の場合「-」でつなぐ。

<記載例>

「松本ら¹⁾は，」「佐藤^{2,3)}は，」「～ことが報告されている⁴⁻⁶⁾。」

3. 記載例

- a. 雑誌論文

番号) 著者（第5者まで記載し、第6者以上は「ほか」または「et al.」で記載する。共著の間は「，」で区切る）：論文題目，掲載誌名，掲載巻：通巻ページの始-終，発行西暦年。

<記載例>

- 1) 大平ちひろ，下江宰司，平田伊佐雄，岩畔将吾，大宅麻衣ほか：ジルコニアの表面処理によるぬれ性が歯冠用コンポジットレジンとの接着に及ぼす影響，日歯技工誌，37: 89-96, 2016.

- 2) Holladay CM, Gwozdek AE: Assessment of Michigan Dentists` and Dental Hygienists` Perceptions Toward Obtaining Continuing Education Credits for Volunteering in Community-Based Clinics, J Dent Hyg, 92(4): 43-50, 2018.

- b. 単行本

番号) 著者（共著者）：書名，上・下巻，出版社名，出版社所在都市名，版数，発行西暦年，引用ページ。

<記載例>

- 3) 小川鼎三：医学の歴史，中公新書39，中央公論社，東京，第1版，1964，89-92.

- 4) Lindhe J: Textbook of Clinical Periodontology, Munksgaard International Publishers, Copenhagen, 2nd ed, 1989, 182-184.

- c. 翻訳書

番号) 原著者名(原語), 翻訳者名(訳または監訳): 翻訳書名, 翻訳書上・下巻, 翻訳書出版社名, 翻訳書出版社
所在都市名, 原著版数, 翻訳書発行西暦年, 翻訳書の引用ページ.

<記載例>

- 5) Nield-Gehrig JS, 村上恵子, 野村正子: 目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションIVアドバンススキル,
医歯薬出版, 東京, 6版, 2010, 148-149.

d. その他の記述形式

・学会抄録

番号) 著者(第5者まで記載し, 第6者以上は「ほか」または「et al.」で記載する. 共著の間は「,」で区切る):
抄録題目, 掲載誌名, 掲載巻: ページの始-終, 発行西暦年.

<記載例>

- 6) 鈴木 恵, 茂原宏美, 浦野瑤子, 小倉千幸, 池田亜紀子ほか: 日本歯科大学東京短期大学におけるコミュニケー
ション学の効果と問題点, 第36回日本歯科医学教育学会総会・学術大会プログラム・抄録集: 133, 2017.

・インターネットウェブサイト

番号) 発行元: 記事名, ウェブサイトアドレス(アクセス日)

<記載例>

- 7) 厚生労働省: 平成28年度歯科疾患実態調査, <http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/62-28-02.pdf> (2018年8月20日ア
クセス)

・電子ジャーナル

原則として通常の雑誌論文と同様とするが, 通常ページが不明な場合は, DOIなどを明記する. 印刷される前に電
子ジャーナルで公開されているものは, 出版年・月のあとに[Epub ahead of print]と記す.

<記載例>

- 8) Herrera D, Retamal-Valdes B, Alonso B, Feres M: Acute periodontal lesions (periodontal abscesses and necrotizing
periodontal diseases) and endo-periodontal lesions. J Clin Periodontol, 2018 Jun. 45 Suppl 20: S78-S94. doi: 10.1111/jcpe.
12941.

<記載例>

- 9) ALHarthi SSY, Natto ZS, Midle JB, Gyurko R, O'Neill R, et al.: Association between time since quitting smoking and
periodontitis in former smokers in the National Health and Nutrition Examination Surveys (NHANES) 2009-2012. J
Periodontol, 2018 Aug 13. doi: 10.1002/jper.18-0183. [Epub ahead of print]

4. 掲載誌名の省略法は, 日本自然科学雑誌総覧および Index Medicus に準ずる.

5. 文献の終わりには, 「著者への連絡先」として, 代表者氏名(和名 ローマ字: 姓はすべて大文字, 名は頭文字のみ大
文字), 所属機関名, 郵便番号 住所, TEL 番号, FAX 番号, E-mail, もしくは「Corresponding author・指導者への連
絡先」として, 指導者氏名(和名 ローマ字: 姓はすべて大文字, 名は頭文字のみ大文字), 所属機関名, 郵便番号 住
所, TEL 番号, FAX 番号, E-mail を記載する.

<記載例>

Corresponding author・指導者への連絡先

九段道子 KUDAN Michiko

飯田橋歯科専門学校歯科技工士科

〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-3-16

TEL: 03-3265-8928

FAX: 03-3265-8815

E-mail: m-kudan@iidabashi.ndu.ac.jp

図・表

1. 図(写真を含む)表は, 図と表に分類して通し番号をつける. 用紙設定はA4判を用い, 1ページに図・表それぞれ1
つずつとし, 当該図表の通し番号とタイトルを入れる.

2. 図・表の説明は, 付図・付表説明としてまとめる.

3. 図・表のカラー印刷を希望する場合にはカラーデータを, モノクロ印刷希望の場合にはモノクロデータを提出する.

<画像データ作成上の注意>

- ・データは、jpg 形式または pdf 形式とする。
 - ・画像サイズは、レイアウトに対応する大きさとし、画面解像度については写真の場合 300 dpi 以上、線画の場合 1,200 dpi 以上にする。
 - ・図のサイズは、編集時に必要に応じて変更される場合がある。
4. 雑誌ではモノクロ印刷とした図を J-STAGE においてカラー掲載とすることも可とする。その場合は投稿時に申し出る事。ただし、J-STAGE のみカラーとした場合、付図説明等を追記することは雑誌掲載の内容あるいは体裁と異なるため認められない。図のカラー・モノクロの選択に関しては、同一の付図説明で可能かどうか著者自身が十分に検討したうえで判断すること。

論文投稿票の記載について

1. 論文投稿票は、本誌最新号に綴じ込みのもの、または日本歯科大学東京短期大学 HP に掲載のものを使用する。
2. 論文の種類欄には、該当する項目に○印を記入する。
3. 論文表題欄には、副表題があれば副表題まで記載する。
4. ランニングタイトル欄には、論文内容を的確に表す略表題を 40 文字以内で記載する。英文字は 2 文字を日本語 1 文字として換算する。
5. 著者氏名欄には、共著者を含め全員記載する。
6. 所属機関名欄には、所属を省略せず、正式名称を記載する。
7. 原稿の構成欄には、投稿原稿（表紙、内容要旨、本文、文献、英文抄録）のページ数、内容要旨語数および英文抄録（Abstract）words、図、表、付図・付表説明のページ数を記載する。
8. 有料別刷部数欄には、希望部数を記載する。
9. 連絡先欄には、投稿者と校正責任者について記載する。
10. 備考・連絡事項欄には、記載事項があれば記載する。
11. 投稿日欄には、E-mail 送信日、または投函日を記載する。

共著者承諾書の記載について

1. 本誌の論文受理に伴う著作権の譲渡にあたり、共著者承諾書には、記載日、論文表題の記入を経て、筆頭著者氏名、共著者氏名の自署・押印（外国人については押印は不要）を行う。

投稿前セルフチェック票の記載について

1. 投稿前セルフチェック票には、記載日、所属機関名および筆頭著者氏名を記載し、筆頭著者が責任をもって投稿原稿の内容確認をチェック欄にて行う。

投稿原稿などの送付

1. Microsoft® Office Word（以下、Word）形式で入力した原稿〔表紙、内容要旨、本文、文献、英文抄録（Abstract）、付図・付表説明〕は、連続した 1 つのファイルに取りまとめる。
2. 図は、jpg 形式または pdf 形式として、連続した 1 つのファイルに取りまとめる。
3. 表は、Microsoft® Office Excel 形式、jpg 形式、pdf 形式または Word 形式として、それぞれ連続した 1 つのファイルに取りまとめる。
4. 論文投稿票、共著者承諾書、投稿前セルフチェック票、投稿論文に関わる利益相反（COI）自己申告書（所属機関指定用紙）および英文校閲証明書〔ネイティブチェックを受けたことを示す証明書（書式は問わない）〕はスキャンし、画像ファイルとして添付送信する。
5. ファイル名を構成する項目は、「著者名」、「学校名（学科不要）」、「原稿」、「図」、「表」、「論文投稿票」、「共著者承諾書」、「投稿前セルフチェック票」、「投稿論文に関わる利益相反（COI）自己申告書」、「英文校閲証明書」およびファイル種類を表す「拡張子」とし、8 つのファイル名の例示を以下に示す。
 <例示>「富士花子：飯田橋歯科専門学校：原稿：docx」

「富士花子: : 飯田橋歯科専門学校 : 図 : jpg」

「富士花子 : 飯田橋歯科専門学校 : 表 : pdf」

「富士花子 : 飯田橋歯科専門学校 : 論文投稿票 : pdf」

「富士花子 : 飯田橋歯科専門学校 : 共著者承諾書 : pdf」

「富士花子 : 飯田橋歯科専門学校 : 投稿前セルフチェック票 : pdf」

「富士花子 : 飯田橋歯科専門学校 : 投稿論文に関わる利益相反 (COI) 自己申告書 : pdf」

「富士花子 : 飯田橋歯科専門学校 : 英文校閲証明書 : pdf」 .

6. E-mail の件名 (Subject) は, 「日本口腔保健学雑誌投稿論文 : 著者名」とする.
7. 投稿原稿は, E-mail アドレス「the-edit@tandai.ndu.ac.jp」宛に送信する.
8. E-mail による投稿ができない場合には, Windows で処理可能な原稿データを収めた CD-ROM, オリジナル原稿 1 部, コピー2 部, 論文投稿票, 共著者承諾書, 投稿前セルフチェック票, 投稿論文に関わる利益相反 (COI) 自己申告書(所属機関指定用紙)および英文校閲証明書を添えて, 本委員会宛に書留郵便またはレターパック (日本郵便) を用いて郵送する.

なお, CD-ROM には, 筆頭著者の氏名, 所属, 論文表題を明記したラベルを貼付すること.

郵送送付先 : 日本歯科大学東京短期大学 雑誌編集委員会

〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2番3号

9. 日本口腔保健学雑誌への投稿に際し, 質問・確認がある場合には, 本委員会 : the-edit@tandai.ndu.ac.jp 宛にメールにてお問い合わせください.